

「持続可能な社会」へ 未来を考える宮崎の企業

2030年までに達成することが求められている「持続可能な開発目標」(SDGs)。
宮崎市内にも次世代が輝いて暮らせるよう、産業、環境、経済などの
さまざまな分野の問題を解決するべく活動する会社があります。

岡崎組

生コン事業部
品質管理課
安藤 聖人さん



入社前は人間関係が不安でしたが、温厚な先輩が多く、いろいろとアドバイスをしてくれます。

主な事業は土木・舗装工事などの公共工事と生コンの製造販売。一般客向けの住宅リフォーム事業も行う。「生産性を上げることで従業員にやさしい会社になる」という社長の理念のもと、全従業員が高効率を意識したワークライフバランスの実現に取り組んでいる。男性社員の育児休暇取得率100%も達成した。メンター制度導入による若手人材の育成なども行い、働きやすさと働きがい両面での成長を目指している。

ブランディングエンジニア

メディアテクノロジー事業部
北市 恵莉さん



子育てと仕事を両立している人が近くにいるので、ずっと仕事が続けられるなと感じます。

東京に本社を置き、ITエンジニアの人材派遣、ウェブメディアのコンテンツ制作などを行う。宮崎オフィスには地元採用の男性7人、女性15人が所属し、時差通勤、副業が認められ、子育てしながら働く人も多い。子どもが熱を出すなどで保育園からの急な呼び出しがあっても、「子どものことを心配しながら仕事をして、いい仕事はできない」(オフィス長・寺園友一さん)と駆け付けられる体制がとられている。

宮崎銀行



ドラマの「半沢直樹」はやりすぎですが、地元への「恩返し」の心は忘れたいです。

人事部 小八重 隆士さん

昭和7年から宮崎の経済を支える地元根付いた銀行。行員は全員SDGsバッジを胸に、地元の未来を見つめる。宮崎の基幹産業である農業の持続可能な発展に向けて設立した農業法人では、ITを活用したスマートアグリを実践。また、大学生や女性のビジネスに関する起業コンテストや、環境保全のための森林整備を行うなど活動は多岐にわたる。地域経済の活性化を考え、宮崎の産業と技術革新の下支えをする。イノベーション(変革)を牽引する存在でありたいという。

高校生の時にうつ病を発症し、授産事業所で働きながらパソコンスキルを高めてきた荒武さん。転職し3年がたちました。主な仕事はウェブ広告の審査。「当初は勤務中に体がだるくなっていました。業務をさせてもらえない体制が整っており、今では長時間勤務ができるようになりました」と話します。仕事を楽しんで没頭でき、「自分の仕事に誰かの役に立っていると考えると、やりがいを持てます」。

宮崎で技術を磨く

日比谷花壇
(シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート内)
平原 萌さん(22歳)



結婚式場を中心に、アレンジや花束づくりなど花のあるシーンを演出する平原さん。高校、大学と花の栽培を学び、国内で業界トップクラスの企業に入社しました。「最新の情報は本社の東京から随時入ってきます。宮崎にいても都心と同じように仕事ができるので、宮崎に物足りなさは全く感じません」と平原さん。入社1年目に技能五輪全国大会へ県代表として出場し、その後も研さんを続けています。



GMO ドリームウェーブ
荒武 靖亮さん(32歳)

自分のペースで働く

「20do」って何?

就職活動をしている人、これから就職活動をする人に!

魅力的な「しごと」を知る市公式情報アプリです

宮崎の「まち・ひと・しごと」に関する情報などを発信しています。アプリ名「20do」の由来は、「20歳からの行動(do)」と「宮崎の20度焼酎文化」から。プッシュ通知で最新の情報が届くほか、成人式の出欠登録ができます。ウェブサイトでも情報を発信しています。



<https://www.20do.jp/>

先輩たちのワークライフを知る「20do・しごと/ひと」

「しごと」「ひと」のコーナーには宮崎に縁がある社会人たちが登場し、自分の仕事、暮らし、夢などを語ります。これまで120以上のコンテンツを掲載し、インタビューや対談から、イベントレポートなども読むことができます。メディアに登場する人の学生時代や仕事への思い、よく知っている企業の社員の声なども掲載。



宮崎市内の会社、仕事を知る「20do企業図鑑」

100以上の企業が登場し、企業の側から「事業内容」「仕事」「職場の雰囲気」を紹介。従業員数やその平均年齢、初任給の金額やインターンシップ情報も掲載しています。気になる企業の基本データを調べてみたり、図鑑から自分の適性や興味に合う企業を探してみたりすることもできます。

